

『学校力向上に関する総合実践事業』コーナー その1

北海道教育委員会の「学校力向上に関する総合実践事業」の指定を受け、今年度で5年目となります。子どもたちの学力・体力・生活力などに関する包括的な取組を行います。

【事業の内容：取り組みの概要】

1 教育課程・指導方法等

学力向上プランの作成と到達目標の設定 全校で統一したスタンダードの徹底 他

2 地域・家庭との連携

生活リズムチェックシートの積極的な活用 ふるさと江差発見学習の充実 他

3 人材育成・近隣校との連携

管理職による日常的な授業参観や指導助言 若手教員向けのテーマ別研修の実施 他

今年度、研修コーディネーターとして、岡村宏安先生が、週に1度来校され若手教職員へアドバイスを行ってくださいます。

第1回テーマ別研修開催

5月18日(木)に町内の若手教員向けのテーマ別研修が開催され、町内の若手教員16名が参加しました。今回は、「学校の危機管理」と題して、研修が行われ、研修コーディネーター岡村宏安先生(元厚沢部小学校長)が講師を務めてくださいました。



4 学校マネジメント・その他

管内規模の公開研究会の開催(9月1日) 外部からの指導助言の充実 他



今年度の学校経営の重点教育目標は「深く考え、ていねいに伝え合う子どもの育成」です。子どもたちの健やかな成長のために欠かせない内容は、たくさんあります。図1にある要素が機能的に結びつき、教育活動が展開されていくことで、優れた結果を残すことにつながるものと考えます。

さらに日頃の積み重ねが重要であることから、具体的な取組として、「発達の段階を踏まえた全学級における学習規律・生活規律の統一及び徹底」を推進します。

6年間の成長を見据え、学習・生活のスタンダードを定めた取組(図2、図3)を継続しますが、子どもたちにも定期的に自己評価させながら、しっかり定着させ、習慣化するよう努めて参ります。

図2 29年度学習スタンダード7 《学習力向上部より》

- ①決められた物だけ、机におきます。
- ②チャイムが鳴る前に勉強道具を出します。
- ③名前を呼ばれたら「はい」と返事をします。
- ④話し手のほうに体を向けて聞きます。
- ⑤発表や音読はみんなに聞こえる声でします。
- ⑥「です」「ます」をつけて答えます。
- ⑦ノートはきれいな字で書きます。

図3 29年度生活スタンダード7 《社会性向上部より》

- ①あいさつは自分からします。
- ②廊下や階段は右側を歩きます。
- ③相手が嫌な気持ちにならないような言葉づかいをします。
- ④チャイムを守って生活します。
- ⑤自分の持ち物はきちんとしまえます。
- ⑥自分の仕事は忘れずに行います。
- ⑦みんなで使う物を大切にします。

子どもたちの健やかな成長に向けて、われわれ教職員も1時間1時間の授業を大切にすため、授業中に心がけるべき大事なことを守り、真摯に子どもたちと向き合いたいと考え、改めて指導力の向上に力を尽くす決意です。『21世紀に生きる力』を子どもたちにつけさせるため、今後とも保護者、地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。